

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 エムケー精工株式会社
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 将一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

四半期報告書提出予定日 平成27年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年3月21日～平成26年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	14,945	△0.2	1,143	△1.5	1,111	0.4	642	△2.7
26年3月期第3四半期	14,975	0.3	1,160	△6.0	1,107	△6.3	659	△20.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 882百万円 (3.8%) 26年3月期第3四半期 849百万円 (0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	44.29	—
26年3月期第3四半期	45.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	21,582	9,434	43.7	650.58
26年3月期	19,753	8,667	43.9	597.73

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 9,434百万円 26年3月期 8,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年3月21日～平成27年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△2.3	820	△12.2	730	△16.2	430	△15.1	29.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	15,595,050 株	26年3月期	15,595,050 株
27年3月期3Q	1,093,762 株	26年3月期	1,093,718 株
27年3月期3Q	14,501,297 株	26年3月期3Q	14,501,496 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られたものの、円安進行による原材料価格の高騰に消費税増税が追い打ちをかけ、個人消費は総じて力強さに欠ける状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、オート機器の分野では設備投資は引き続き底堅い動きを見せているものの、情報機器及び生活機器の分野では価格競争は依然として厳しく、予断を許さない経営環境となっております。

こうした状況にあって当社グループは、人材育成と営業部門強化に向けたプロジェクトを立ち上げると共に、更なる生産性の向上と企業ブランド強化に取り組み、筋肉質な企業体質の構築を目指して改善を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は149億4千5百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は11億4千3百万円（前年同期比1.5%減）、経常利益は11億1千1百万円（前年同期比0.4%増）、四半期純利益は6億4千2百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(オート機器事業)

主要製品の門型洗車機は、S S業界やカーディーラーを中心に買い替え需要が継続し、販売台数を伸ばしました。また、オイル関連製品では、政府補助金制度を活用したローリーの売上が好調に推移し、建設機械用洗浄機の新規導入店も拡大・伸張しました。この結果、売上高は前年同期比7.1%増の96億5千5百万円となりました。

(情報機器事業)

一般店舗向け小型表示機及びアミューズメント業界向けフルカラー表示機は、新製品投入により積極的な拡販に努めましたが、海外製品との厳しい価格競争が続き、また工事用表示機は、顧客の投資一巡による一服感がみられ伸び悩みました。一方、官需関連の道路情報板は、前年度受注分が当期売上に寄与したものの、売上高は前年同期比12.0%減の13億7百万円となりました。

(生活機器事業)

消費税増税後の消費マインド冷え込みの回復が見られず、一般家庭向け商材及び調理家電共に厳しい状況が続きました。また、主力の農産物低温貯蔵庫は天候不順、米価格の下落などの影響もあり、販売促進活動に積極的に取り組んだものの伸び悩み、売上高は前年同期比9.0%減の29億9千6百万円となりました。

(住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシ及び反射板式消音装置の製造・販売が主な事業であります。主要取引先である建設業界は職人不足による労務費の高騰や資材価格の上昇が顕在化する中、当社においても厳しい受注環境が続いております。また、売上計上時期のずれ込みにより、売上高は前年同期比19.9%減の8億4千万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンブラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、長野市内での競合が激化し厳しい状況が続いておりますが、ビジネス客の利用が順調に推移し、売上高は前年同期比12.8%増の1億4千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億2千8百万円増加し215億8千2百万円となりました。流動資産は17億4千5百万円増の122億2千7百万円、固定資産は8千万円増の93億5千2百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、たな卸資産が8億9千7百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ10億6千1百万円増加し121億4千7百万円となりました。流動負債は17億8千6百万円増の95億7千万円、固定負債は7億2千5百万円減の25億7千6百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことと1年内返済予定の長期借入金が増加したこと、長期借入金が増加したこと、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億6千6百万円増加し、94億3千4百万円となりました。これは主に四半期純利益6億4千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期業績予想につきましては、平成26年5月1日付「平成26年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,706,257	1,713,454
受取手形及び売掛金	4,190,711	5,073,417
商品及び製品	1,209,553	1,481,427
仕掛品	1,219,865	1,577,243
原材料及び貯蔵品	1,863,542	2,131,810
その他	329,636	285,104
貸倒引当金	△37,848	△35,384
流動資産合計	10,481,718	12,227,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,728,681	2,594,503
機械装置及び運搬具(純額)	249,656	383,854
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	137,262	136,414
有形固定資産合計	6,096,765	6,095,937
無形固定資産		
のれん	948,178	866,529
その他	505,694	512,696
無形固定資産合計	1,453,872	1,379,226
投資その他の資産	1,721,548	1,877,640
固定資産合計	9,272,186	9,352,803
繰延資産	—	2,238
資産合計	19,753,904	21,582,114

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	988,074	1,388,947
短期借入金	2,210,000	2,660,000
1年内返済予定の長期借入金	842,396	1,801,322
未払金	2,828,174	2,946,687
未払法人税等	313,349	214,839
引当金	339,147	144,377
その他	263,112	414,816
流動負債合計	7,784,254	9,570,990
固定負債		
社債	—	100,000
長期借入金	2,820,518	1,938,094
退職給付引当金	238,689	197,469
厚生年金基金解散損失引当金	—	19,688
その他	242,623	321,552
固定負債合計	3,301,831	2,576,804
負債合計	11,086,085	12,147,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	2,810,575	3,336,796
自己株式	△510,386	△510,402
株主資本合計	8,624,884	9,151,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,408	238,770
繰延ヘッジ損益	3,036	28,881
為替換算調整勘定	△38,510	15,577
その他の包括利益累計額合計	42,934	283,229
純資産合計	8,667,819	9,434,319
負債純資産合計	19,753,904	21,582,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年12月20日)
売上高	14,975,774	14,945,436
売上原価	10,002,807	9,895,076
売上総利益	4,972,967	5,050,359
販売費及び一般管理費	3,812,429	3,906,753
営業利益	1,160,537	1,143,605
営業外収益		
受取配当金	25,393	28,957
その他	44,792	45,203
営業外収益合計	70,185	74,160
営業外費用		
支払利息	71,832	59,223
その他	51,482	46,691
営業外費用合計	123,315	105,915
経常利益	1,107,407	1,111,851
特別利益		
固定資産売却益	208	4,123
投資有価証券売却益	—	13,736
特別利益合計	208	17,859
特別損失		
固定資産除売却損	1,976	2,666
投資有価証券評価損	—	39
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	19,688
ゴルフ会員権評価損	220	—
特別損失合計	2,196	22,395
税金等調整前四半期純利益	1,105,419	1,107,315
法人税、住民税及び事業税	367,243	381,684
法人税等調整額	78,219	83,399
法人税等合計	445,462	465,084
少数株主損益調整前四半期純利益	659,956	642,231
四半期純利益	659,956	642,231

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	659,956	642,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,533	160,361
繰延ヘッジ損益	△9,364	25,844
為替換算調整勘定	152,733	54,088
その他の包括利益合計	189,902	240,294
四半期包括利益	849,859	882,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	849,859	882,526

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,018,838	1,486,622	3,291,709	1,050,216	128,388	14,975,774	—	14,975,774
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,523	35,639	252,350	179	103,655	398,348	△398,348	—
計	9,025,361	1,522,261	3,544,059	1,050,395	232,044	15,374,122	△398,348	14,975,774
セグメント利益又は 損失(△)	1,516,454	△182,849	450,083	△34,219	39,739	1,789,208	△628,670	1,160,537

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△628,670千円には、セグメント間取引消去19,568千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△648,238千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至 平成26年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,655,669	1,307,688	2,996,520	840,739	144,818	14,945,436	—	14,945,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,046	43,770	264,644	148	102,740	413,350	△413,350	—
計	9,657,716	1,351,459	3,261,164	840,887	247,558	15,358,786	△413,350	14,945,436
セグメント利益又は 損失(△)	1,546,026	△24,030	284,151	△86,392	40,498	1,760,252	△616,647	1,143,605

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△616,647千円には、セグメント間取引消去19,555千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△636,202千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。